

# やつおせて

2024 No. 43 (4月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員  
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

## ～和田地区いろいろ見て歩く記～

いちねんせ～いに  
なった～ら～

いちねんせ～いに  
なった～ら～



つめです!

暖かくなり、色とりどりの花々が咲き始めましたね。春は卒業、入学など別れと出会いの季節でもあります。皆さんにとって素敵な出会いがありますように! (つめ)

小学生人権標語テスト入選作品

助け合う 声かけすれば 花がさく

〔和田地区の歴史コーナー〕



和田地区の地蔵紹介 ④

【曾川地蔵】

(本郷)

歯の病の平癒にご利益があると伝えられている。

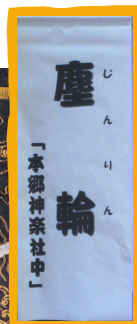
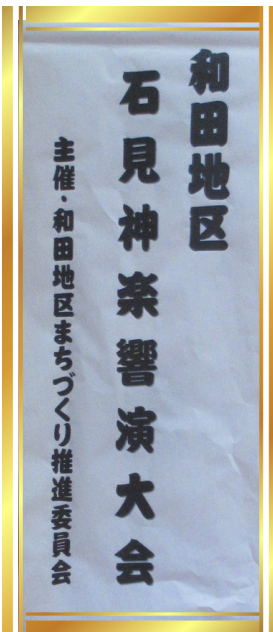
和田の歴史といいつたえ  
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照

# 神楽響

## 「和田の地域資源、石見神楽の伝承」

昨年度から和田地区まちづくり推進委員会で取り組んでいる国庫補助事業「農村RMOモデル支援事業」の三本柱の一つである「地域資源の活用」の位置づけで、これまで地域で守り続けている石見神楽を、今後も大切な地域資源として維持、伝承していくことを目的として3月17日「和田地区石見神楽響演大会」を開催しました。

毎年各地区で開催されている秋の例大祭前夜祭の神楽奉納に、足を運ぶことのできないお年寄りの皆さんにも、「和田の神楽」をゆっくりとご覧いただきました。



# 演大会



無料送迎バスを運行しました



「大蛇  
和田地区合同神楽社中」

石見神楽を代表する演目、大蛇を和田の神楽団体合同で演じました。今では滅多にお目にかかることのない8頭仕立ての大蛇の迫力に、来館者150名から拍手喝采！会場は一気に歓喜に包まれました。

フライドポテト

おでん

ポップコーン

重富親和会と地域ボランティアでおでんやフライドポテトなどを販売しました。「囃子を聞きながらのおでんは最高だね」と皆さん喜ばれていました。





## ウィムセット家、 日本人新年会に参加する



皆さま、こんにちは。今日は、ナッシュビルで毎年1月に開催される日本人新年会に息子2人と参加しましたのでその様子をお伝えします。

さて、テネシー州には、約4,300人の日本人が住んでいます。州内には、日本の企業がたくさん存在しており、例えば日産自動車、ブリヂストン、デンソーなどの会社へ日本から出向した駐在員の方が多く住んでいます。



これらの企業を中心として、ナッシュビルでは日本人の新年会が毎年開かれ、皆でお餅をついて食べたり、ステージでは、着物のファッションショー、コーラスの方々は日本の童謡を歌ったり、ヨーヨー釣りや射的、輪投げなど、子どもたちはゲームをして遊んで過ごします。会場内には、古本屋さんも設置され、安く日本の本を手に入れることもできます。

そして、今回は初めて息子たちが杵を使ってお餅を作る体験をしました。ハッピーを着て、ヨイショー！の掛け声と共に杵を振り上げる姿は、なかなか様になっていると思いませんか？2人とも楽しかったようで、自分たちがついたお餅を後で嬉しそうに食べていました。



それから、皆さんは2010年から5年間、阪神タイガースで活躍した元プロ野球選手のマット・マートンさんがナッシュビルに住んでいるのはご存知でしょうか？彼は、アメリカへ帰国後も精力的に日本人に英語を教えたり、日本の文化を伝えるボランティアをされており、地元でも大変有名な方なのです。マットさんも新年会に参加していたので、彼が一体誰なのか？知らない息子たちも記念に写真を撮ってもらいました。

この新年会は、たくさんの日本人の方々と交流することはもちろんですが、子どもたちにとって日本の文化を知る良い機会になるため、これからも毎年参加したいと思っています。